

2022年4月20日

各位

株式会社 北九州銀行

株式会社マキノグリーンの「SDGs経営立ち上げ支援サービス」利用による『SDGs宣言』策定について

北九州銀行（頭取 嘉藤 晃玉）は、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、「SDGs経営立ち上げ支援サービス」を開始しており、お客さまのSDGsに関する取組み状況の診断と今後の課題抽出を行うことで、『SDGs宣言』の策定に向けた支援を行っております。この度、当サービスを通じて、『SDGs宣言』を策定されたお客様について、下記のとおりお知らせします。

当行は、地域の皆さまと共に歩み、共に成長するため、様々な事業活動を通じて、多様な課題の解決に取組み、地域の価値向上を実践していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 企業概要

企業名	株式会社マキノグリーン
所在地	福岡県北九州市八幡西区浅川台1丁目1-4
代表者	深浦 邦彦
業種	法面緑化及び保護工事業
URL	https://www.makino-green.com

※株式会社マキノグリーンの『SDGs宣言』については、別紙をご参照ください。

2. 山口フィナンシャルグループのマテリアリティ

山口フィナンシャルグループは、持続可能な社会の実現に貢献していくために、「グループサステナビリティ方針」を策定し、この方針に基づき、重点的に取り組むべきESG課題である「マテリアリティ」を特定しております。本件は、12のマテリアリティの中で「②地域におけるイノベーション、地域産業の成長サポート」の実現に資する取り組みです。

 地域社会・経済活性化への取り組み	①人口減少・少子高齢化への対応 ②地域におけるイノベーション創出、地域産業の成長サポート ③地域コミュニティとの連携強化 ④商品・サービスの安全性と品質向上	 環境保全への取り組み	⑤省資源・省/創エネルギーへの対応 ⑥大気汚染・気候変動への対応 ⑦環境に配慮した商品・サービス開発
 従業員全員の働きがいへの取り組み	⑧人材育成・研修機会の創出 ⑨安心・安全な労働環境作り ⑩多様な人材の活躍 （ダイバーシティ&インクルージョン）	 強固な経営基盤づくりへの取り組み	⑪ガバナンス体制・内部統制の強化 ⑫経営の透明性向上と説明責任

以上

【本件に関するお問合せ先】

ワイエムコンサルティング株式会社 担当：森山 TEL：082-567-5280
 株式会社北九州銀行 事業性評価部 担当：高木 TEL：082-258-9910



株式会社マキノグリーン SDGs宣言

当社は、「自然環境に配慮した共生緑化を目指す」という経営理念のもと、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年3月7日

株式会社マキノグリーン

代表取締役 深浦 邦彦



重点項目(ターゲット2030)

緑化工技術の推進

長年磨き続けてきた職人魂を発揮し、地についた技術を用いて環境共生社会の実現に取り組みます。誠意を尽くした施工を継続し、今後もより良い緑化工技術の探索・研鑽に努めてまいります。

【主な取り組み】

ISO9001・ISO45001の取得、顧客情報管理についてマニュアル作成、公正・公平な企業活動



環境への配慮

地球温暖化を重要な経営課題の一つとして捉え、省エネ・リサイクルに努めます。本業を通じた緑化の普及や、CO2排出が抑制される工法を開発することで、環境保全に貢献してまいります。

【主な取り組み】

ISO14001の取得、CWOS緑化工法の利用、植物誘導吹付工の開発、ハイブリッド車の利用、紙の使用量削減



安心して働ける職場環境作り

社員との面談や会議を定期的に行うことで、社員の声を活かした、働きやすい労働環境の実現を目指します。差別やハラスメントの無い、社員が安心して働ける職場づくりに取り組んでまいります。

【主な取り組み】

「子育て応援宣言」、「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」、「福岡県介護応援宣言」、「飲酒運転撲滅宣言」等の登録



地域社会との共存

地域に密着した事業活動を通じて、地域の皆さまとの連携を大切にします。地域課題の解決や地域経済の活性化に取組み、持続可能な地域社会の発展に貢献してまいります。

【主な取り組み】

「北九州法面防災協会」加入、災害ボランティア・清掃ボランティア参加への参加



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。